

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅰ ナンバリング：2325	教員の免許状/保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎 瀬戸奏、浅見彩賀、小川協輪 田口琴己、西河由季、野本裕美子、 担当形態：クラス分け、オムニバス
科目/系列	大学が独自に設定する科目/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 /教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. 季節の歌(春・夏)の必修課題曲の弾き歌いができる。 2. (ピアノ初心者) バイエル72番以上、(ピアノ経験者) 3曲以上の楽曲を弾くことができる。 3. 基礎的な楽典を説明できる。			
授業の概要 1. 合同授業 音楽の基礎となる楽典を学び、保育、幼児教育で使用される歌唱曲(童謡、遊び歌など)を習得する。 2. 個人レッスン 幼児教育、保育現場で必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指す。学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。			
授業計画 授業90分のうち、45分を合同授業(担当：瀬戸)、45分を4クラスに分けて個人レッスン(担当：小澤、浅見、小川、田口、西河、野本)		授業時間外の学習	
〈合同授業〉 第1回：オリエンテーション 第2回：楽典① 楽譜の基礎(五線・音部記号・小節線) 第3回：楽典② 音名、音符・休符の種類 第4回：楽典③ 拍と拍子の種類 第5回：楽典④ 調号と音階 第6回：楽典⑤ 長音階と短音階 第7回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-春) 歌詞の理解 第8回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-春) 歌い方の指導 第9回：手遊び・指遊び 教員による提示と個人練習 第10回：手遊び・指遊び 2人組に分かれての練習 第11回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-夏) 歌詞の理解 第12回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-夏) 歌い方の指導 第13回：「子どもの歌」弾き歌いのまとめ 春・夏の歌の復習 第14回：「子どもの歌」弾き歌いのまとめ 小テスト 第15回：「子どもの歌」弾き歌いテスト 定期試験：筆記・実技		〈合同授業〉 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 課題の楽典ワークの学習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 手遊び・指遊びの練習(1時間) 手遊び・指遊びの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 試験の準備と練習(1時間)	
〈個人レッスン〉 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン		〈個人レッスン〉 毎回のレッスンで課題となった曲の練習(1日15分以上、1週間に合計1時間以上)	
授業の方法 合同授業と個人レッスン(ピアノ実技指導)。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。			
テキスト 個人レッスン 初級者は『バイエル』 既習者はレベルに合わせて選曲 合同授業 『改訂 学生のためのコールユープンゲンとコンコーネ』 教芸音楽研究グループ編 教育芸術社 『こどものうた100』 小林美実監修 チャイルド社			
参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせた曲を紹介する。			
学生に対する評価 合同授業内での必修課題曲のマスター(30%)、小テスト(10%) 個人レッスンの受講態度(受講上の注意を守る)(20%)、 個人レッスンの課題の習熟度(個人カルテ配布)と実技試験(40%)			
履修上の注意 自己学習の予習、復習が大変重要である。 特に、今までにピアノ学習経験のない学生は努力する必要がある。			
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師
実務経験を活かした教育内容 ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に添って指導できるよう授業を行う。			

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅱ ナンバリング：2326	教員の免許状/保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎 瀬戸奏、浅見彩賀、小川勝輪、田口琴巳、西河由季、野本裕美子 担当形態：クラス分け、オムニバス
科目/系列	大学が独自に設定する科目/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 /教科目			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>1. 生活の歌、季節の歌(秋・冬) 必修課題曲の弾き歌いができる。 2. (ピアノ初心者) バイエル96番以上、(ピアノ経験者) 3曲以上の楽曲を弾くことができる。 3. コールキューブングンを歌うことができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>1. 合同授業 「音楽Ⅰ」で学んだ内容をもとに、ソルフェージュの力と正しい発声を身につけて「子どもの歌」の弾き歌いを習得する。 2. 個人レッスン 幼児教育、保育現場で必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指す。学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。</p>			
<p>授業計画</p> <p>授業90分のうち、45分を合同授業(担当：瀬戸)、45分を4クラスに分けて個人レッスン(担当：小澤、浅見、小川、田口、西河、野本)</p> <p>〈合同授業〉 第1回：オリエンテーション 第2回：ソルフェージュ① 正しい発声 第3回：ソルフェージュ② 正しい音程の取り方とは 第4回：ソルフェージュ③ コールキューブングンによる音程の取り方</p> <p>第5回：「子どもの歌」弾き歌い(生活の歌) 第6回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-秋) 歌詞の理解 第7回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-秋) 歌い方の指導 第8回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-冬) 歌詞の理解 第9回：「子どもの歌」弾き歌い(季節の歌-冬) 歌い方の指導 第10回：歌唱活動(アンサンブル) 音取り 第11回：歌唱活動(アンサンブル) 部分練習・パート練習 第12回：歌唱活動(合唱曲) 音取り 第13回：歌唱活動(合唱曲) 部分練習・パート練習 第14回：歌唱活動(合唱曲) 全体練習 第15回：歌唱活動(合唱曲) の発表 定期試験：実技</p> <p>〈個人レッスン〉 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン</p>		<p>授業時間外の学習</p> <p>〈合同授業〉</p> <p>コールキューブングン等課題曲の練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 「子どもの歌」弾き歌いの練習(1時間) 歌唱アンサンブルの練習(1時間) 歌唱アンサンブルの練習(1時間) 試験曲の練習(1時間) 試験曲の練習(1時間) 試験曲の練習(1時間)</p> <p>〈個人レッスン〉 毎回のレッスンで課題となった曲の練習(1日15分以上、1週間に合計1時間以上)</p>	
<p>授業の方法 合同授業と個人レッスン(ピアノ実技指導)。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。</p>			
<p>テキスト</p> <p>個人レッスン 初級者は『バイエル』 既習者はレベルに合わせて選曲 合同授業 『改訂 学生のためのコールキューブングンとコンコーネ』 教芸音楽研究グループ編 教育芸術社 『ここのうた100』 小林美実監修 チャイルド社</p>			
<p>参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせて曲を紹介する。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>合同授業内での必修課題曲のマスター(30%)、小テスト(10%) 個人レッスンの受講態度(受講上の注意を守る)(20%)、 個人レッスンの課題の習熟度(個人カルテ配布)と実技試験(40%)</p>			
<p>履修上の注意</p> <p>自己学習の予習、復習が大変重要である。 特に、今までにピアノ学習経験のない学生は努力する必要がある。</p>			
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師
<p>実務経験を活かした教育内容</p> <p>ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に沿って指導できるよう授業を行う。</p>			

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅲ ナンバリング：2327	教員の免許状／保育士資格 取得のための選択科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎、 瀬戸奏、浅見彩賀、小川弥輪、 田口琴巳、野本裕美子 担当形態：クラス分け、オムニバス
科目／系列	大学が独自に設定する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. ハ、ト、ヘ、ニ、変ロ長調、各調の3コードを理解できる。 2. 弾き歌い5曲と独奏曲2曲を弾くことができる。 3. 春、夏、生活の歌の模擬授業ができる。			
授業の概要 1. 合同授業「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」で学んだ内容をもとに、保育現場でよく使われる曲に伴奏づけができるようになることを目標とする。簡単なコードネームによる伴奏法を身につけ、多様な即興表現を楽しむ。 2. 個人レッスン 幼児教育、保育現場で必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指す。学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。			
授業計画 授業90分のうち、45分を合同授業（担当：瀬戸）、45分を4クラスに分けて個人レッスン（担当：小澤、浅見、小川、田口、野本） 〈合同授業〉 第1回：オリエンテーション 第2回：春の歌 Aグループによる模擬授業 第3回：春の歌 Bグループによる模擬授業 第4回：コードネーム① ハ長調3コードの説明 第5回：コードネーム② 楽曲を用いたハ長調3コードの指導 第6回：コードネーム③ ト長調3コードの説明 第7回：コードネーム④ 楽曲を用いたト長調3コードの指導 第8回：夏の歌 Aグループによる模擬授業 第9回：夏の歌 Bグループによる模擬授業 第10回：コードネーム⑤ ヘ長調3コードの説明 第11回：コードネーム⑥ 楽曲を用いたヘ長調3コードの指導 第12回：コードネーム⑦ ニ長調3コードの説明 第13回：コードネーム⑧ 楽曲を用いたニ長調3コードの指導 第14回：生活の歌 模擬授業 第15回：3コードのまとめ 定期試験：実技(3コードによる伴奏づけ) 〈個人レッスン〉 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン		授業時間外の学習 〈合同授業〉 模擬授業のための準備・練習（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） ハ長調3コードの練習（1時間） ハ長調3コードの練習（1時間） ト長調3コードの練習（1時間） ト長調3コードの練習（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） ヘ長調3コードの練習（1時間） ヘ長調3コードの練習（1時間） ニ長調3コードの練習（1時間） ニ長調3コードの練習（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） 3コードによる伴奏づけの練習（1時間） 〈個人レッスン〉 毎回のレッスンで課題となった曲の練習（1日15分以上、1週間に合計1時間以上）	
授業の方法 合同授業と個人レッスン（ピアノ実技指導）。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。			
テキスト 個人レッスン レベルに合わせて選曲 合同授業 『こどものうた100』小林美実監修 チャイルド社			
参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせた曲を紹介する。 コードネームに関する資料と課題を配布する。			
学生に対する評価 合同授業内の課題（3コード）試験（30%）、と模擬授業発表（10%） 個人レッスンの受講態度（受講上の注意を守る）（20%）、 個人レッスンの課題の習熟度（個人カルテ配布）と実技試験（40%）			
履修上の注意 自己学習の予習、復習が大変重要である。 個々にレベルアップを目指し、実践できる力をつけられるよう練習すること。			
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師
実務経験を活かした教育内容 ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に沿って指導できるよう授業を行う。			

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅳ ナンバリング：2328	教員の免許状／保育士資格 取得のための選択科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎、 浅見彩賀、小川弥輪、田口琴巳、野本 裕美子 担当形態：クラス分け、オムニ バス
科目／系列	大学が独自に設定する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. 保育・教育現場でよく使われる曲を自由に伴奏できる。 2. 曲にあったコードがつけられ、伴奏形が工夫できる。 3. 弾き歌い5曲と独奏曲2曲をレパートリーとし、その中の1曲以上を演奏発表できる。			
授業の概要 1. 合同授業 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で学んだ内容をもとに、保育・教育現場でよく使われる曲を自由に伴奏できるようになる。コードネームによる伴奏法を発展させ子どもの表現活動を導く即興演奏ができるようになる。 2. 個人レッスン 幼児教育の為に必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指し、学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。			
授業計画 授業90分のうち、45分を合同授業（担当：小澤）、45分を4クラスに分けて個人レッスン（担当：浅見、小川、田口、野本）		授業時間外の学習	
<合同授業> 第1回：オリエンテーション・コードネームの復習 第2回：コードネームによる伴奏法の応用（ハ長調課題） 第3回：コードネームによる伴奏法の応用（ト長調課題） 第4回：秋の歌 模擬授業 第5回：コードネームによる伴奏法の応用（ヘ長調課題） 第6回：コードネームによる伴奏法の応用（ニ長調課題） 第7回：コードネームによる伴奏法の応用（変ニ長調） 第8回：移調の方法 第9回：冬の歌 模擬授業 第10回：模擬クリスマスコンサートの実施 第11回：編曲法について 第12回：編曲した曲の発表 第13回：メッセージソングの練習 第14回：模擬卒園式（メッセージソングの発表） 第15回：まとめ 定期試験：実技（「音楽Ⅳ履修者によるピアノ発表会」）		<合同授業> 課題練習（1時間） 〃（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） 課題練習（1時間） 〃（1時間） 〃（1時間） 課題曲を移調する練習（1時間） 模擬授業のための準備・練習（1時間） コンサート演奏曲の練習（1時間） 課題曲を編曲する（1時間） 編曲した曲の練習（1時間） メッセージソングの練習（1時間） 〃（1時間） 発表会の曲の練習（1時間）	
<個人レッスン> 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン		<個人レッスン> 毎回のレッスンで課題となった曲の練習（毎日10分程度、1週間に合計1時間以上）	
授業の方法 合同授業と個人レッスン（ピアノ実技指導）。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。			
テキスト 個人レッスン レベルに合わせて選曲 合同授業 『こどものうた100』小林美実監修 チャイルド社			
参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせた曲を紹介する。 合同レッスンでは課題に関する資料や楽譜を紹介する。			
学生に対する評価 合同授業内の課題（ワークシート）遂行と提出（30%） 模擬授業発表（20%） 個人レッスンの受講態度（受講上の注意を守る）（20%） 個人レッスンの課題の習熟度（個人カルテ配布）（30%）			
履修上の注意 個々にレベルアップを目指し、練習をしてレッスンに臨むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師
実務経験を活かした教育内容 ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に沿って指導できるよう授業を行う。			